

「2012 SUPER GT」開幕第一戦レポート

LEXUS TEAM KeePer Kraft 初陣の洗礼か! 開幕戦は接触リタイヤで終わる…

昨年は東日本大震災の関係で開催が順延となり、実質的には第2戦としての開催となった岡山大会

2012バージョンへとアップデートされた「KeePer Kraft SC430」をドライブするのは、トヨタの若手育成プログラムTDPドライバーの「国本雄資」と、同じくトヨタのル・マン24時間レースプロジェクトでジュニアドライバーを務めるイタリアの若手「アンドレア・カルダレリ」という22歳のフレッシュコンビ!

フレッシュな2人に相応しく、色鮮やかな

KeePerブルーに彩られた「KeePer Kraft SC430」は、ここ岡山で事前に行われたGTA公式テストにも参加、ルーキーイヤーである2人のドライバーもみっちり走り込みを行い、開幕ダッシュを決めるべくマシンもセットアップ!雨が降ったり止んだりの不安定な天候の中、公式練習を終え、いよいよ公式予選を迎える。



戦の団子状態となり、またこの頃になるとGT300クラスの周回遅れも絡み非常にスリリングな展開に!



アンドレアにとってはこれも初めてのドライバー交代だ。落ち着いて規程ポジションにマシンをストップ、クルーも確実にタイヤ交換、燃料補給を行い、国本をコースへと送り出す。

国本、接触、無念のリタイヤ

さて、国本がドライブする「KeePer Kraft SC430」は何位に戻るかと目を向けていると、国本から「当たっちゃいました」と緊急無線が!すぐさま「走れるか?」と返すと「走って戻れます。ただ壊れていると思います」との返事。ピットはあらゆる状況に備え国本の戻りを待ったが、戻ってきたマシンのダメージは思ったより大きく、レースへの復帰を断念。無念の初戦リタイヤとなった。SUPER GTの難しさを痛感する結果となったが、今回の悔しさを武器に次戦富士のリベンジを誓うLEXUS TEAM KeePer Kraftであった。



アンドレア11位まで追い詰める

それでもアンドレアはクレバーに走行を続け、15周目には#18をオーバーテイクして12位とすると、TOP集団と変わらぬラップタイムで前車を追走。テールtoノーズという状態まで追い詰めるが、300クラスのマシンが現れるとやはり初めてのレース、混走の難しさの洗礼を受けややタイムが落ちる。それでも我慢強く走行を続ける。31周目、#6が他車と接触しコースアウトしたことで11位となると、続く34周目あたりからはルーティンのピットストップに入るマシンもあり、34周目には9位、36周目には6位、39周目にはついに4位となったところでルーティンのピットストップ。

★公式予選 3/31(SAT)14:30~

昼前には雨も上がり、ドライで行けそうな予選

今回の予選はノックアウト方式。まずはQ1で上位11台がQ2へと進み、そのあとQ2の上位7台がQ3へと進み1位から7位を決めるシステム。連続してドライバーは乗れないため、今回「KeePer Kraft SC430」は国本→アンドレア→国本の順でアタックを行う。

まずはQ1、国本はマシンに乗り込むが、セッション開始4分前から再び雨が降り始め、路面はみるみるウェットな状況に。ギリギリまでスリック(ドライ用タイヤ)で行く可能性を待つが1分前、「ドライではムリ」という判断で急速インターミディエイト(浅溝レイン)へとタイヤを交換。コースオープンと同時にコースインした国本は、徐々にタイムを上げその時点で総合7番手、Q1通過は余裕かと思われたヘアピンで突如スピン&ストップ!国本はそのまま動くことができず、赤旗が提示されセッションはストップ。後にミッショントラブルであることが判明したが、タイム抹消のペナルティを受け予選不通過に。チームは即座に大会事務局に対し嘆願書を提出、決勝への出走が許可されるが、残念ながら最後尾からの出走となってしまった。



★決勝 4/1(SUN)14:00~

15番手で決勝レース(82Laps) いよいよスタート!

前日からの雨も止み、曇り空の合間に晴れ間がのぞくままの決勝日。今回のSUPER GTは朝のフリー走行終了後から、日差しが覗いたとは思えばまたパラパラと雨が降ったりとエンジニア泣かせの天候。数台のパソコンの前に張り付き、天候を調べるエンジニア、そのエンジニアからの指示を待ち、出走ギリギリまでマシンのセットアップを行うメカニックと、まさに天候に翻弄されながらなんとかドライでの決勝を迎えた。スタートドライバーは、アンドレア。7年ぶりのローリングスタートとなる今回のレース、初めてのGT、初めてのコース、初めての右ハンドルと初めて尽くしで、さぞ緊張しているかと思いきや、意外にも落ち着いている。予選の不運により15番グリッドと最後尾からのスタートを無難にまとめ、1周目を無難に15番手で通過。

14番手を走行する#24の背後にピタリと付け、じっくりとチャンスを伺う落ち着いた走行。

迎えた8周目、前を行く#12の緊急ピットインによりポジションを14位へと上げると10周目には#32をオーバーテイクし13位へと浮上。12周目を過ぎた頃には7位を走行する#6を先頭にアンドレアまで7台が大接

レース関係者に聞く

「クリスタルキーパー体験インタビュー」

アンドレア・カルダレリのマネージャー
細田真美子さんが1年前にクリスタルキーパーを施工!!

※昨年はアンドレ・クートのマネージャーでした



クリスタルキーパー施工前後でどんなこと感じられましたか?

私の車は年数が経っている上、露天駐車や高速道路での使用が多く、更にブラックボディのため一層古い印象でした。せっかくワックス仕上げをしても長持ちせず、水のシミや細かいキズも気になっていました。そんな中、レースでキーパーと出逢

ったことをきっかけに、早速コーティングをお願いしました。実は古い塗装ボディへのコーティングの効果や持続性には半信半疑でしたが、1年近く経った今でもその効果は続いています。

クリスタルキーパー施工後のお車の状態はいかがですか?

クリスタルキーパーのおかげで、ボディにこびりついてたツブツブ(鉄粉)や水垢がとれて、輝きが甦りました。汚れも付きにくくなり、汚れても水洗いの後、さっと拭き取るだけでピカピカになるので、そ

の手軽さは本当に助かります!SUPER GTのピットでキーパースタッフが使用されているスペシャルクロスを使うと更に効果的です。洗車用シャンプー剤やワックスもまったく必要なくなりました。

次回(1年後)もコーティング施工したいとお考えですか?

もちろんです!古いながらもトラブルフリーでよく走ってくれる愛車なので、ぜひ「ボディケア」もしてあげたいです。ピカピカの車をドライブするのは本当に気持ちが良いですからね!